

2013

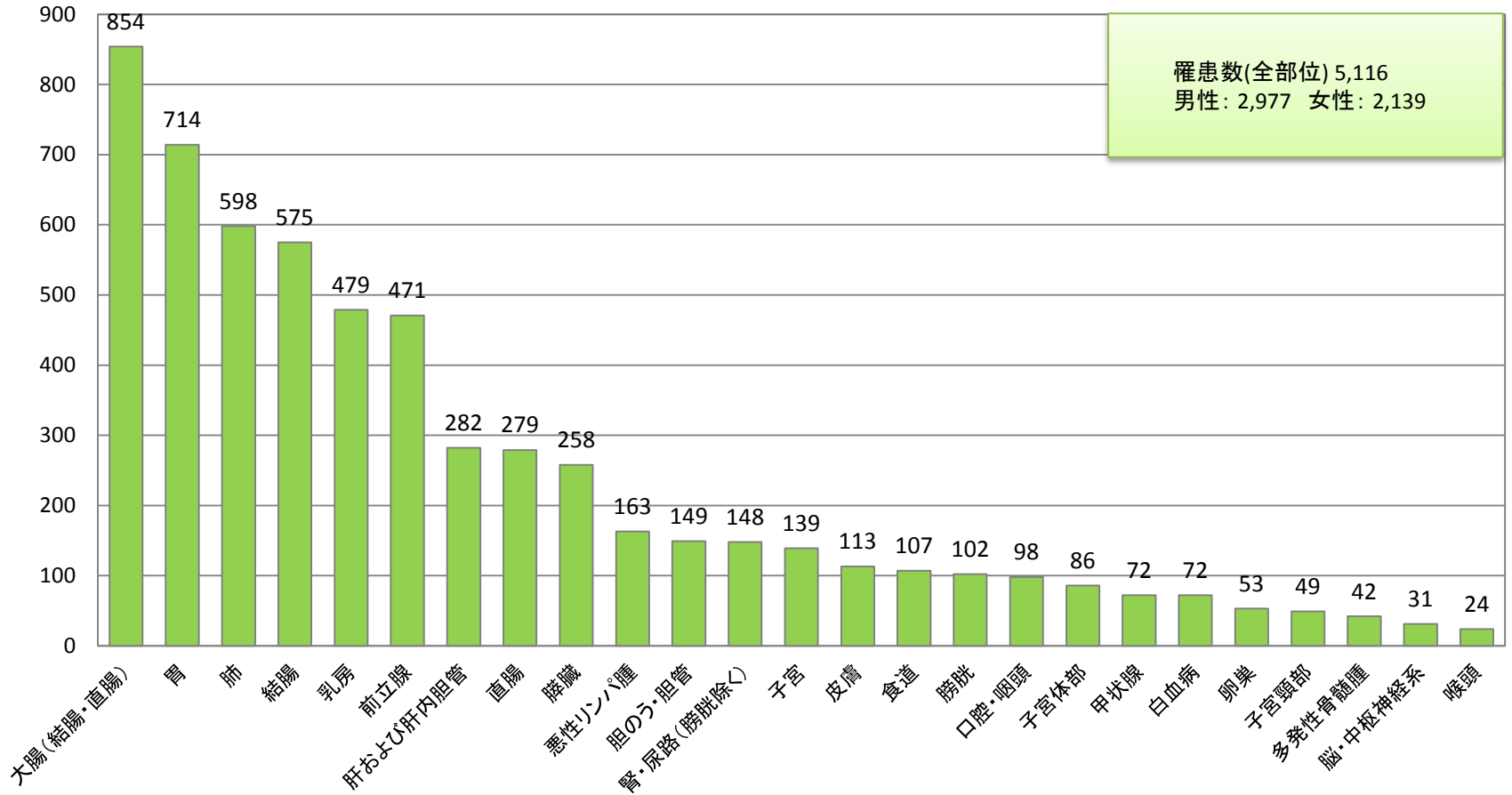
山梨県がん罹患 集計結果

(確定値)

2017年3月集計

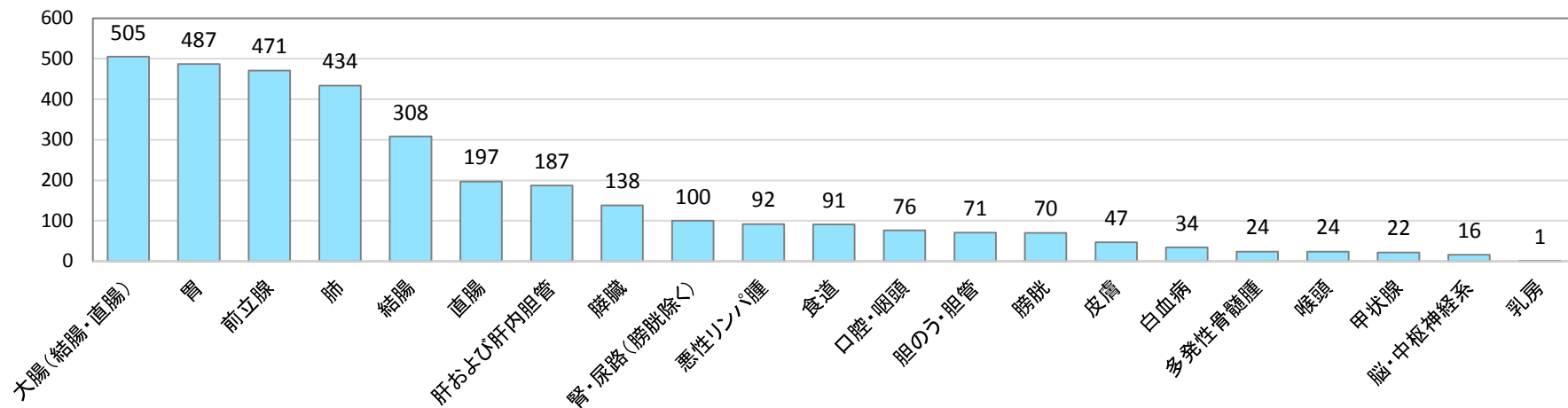
A 2013年山梨県がん罹患数(全体)(件)

(上皮内がんを除く)

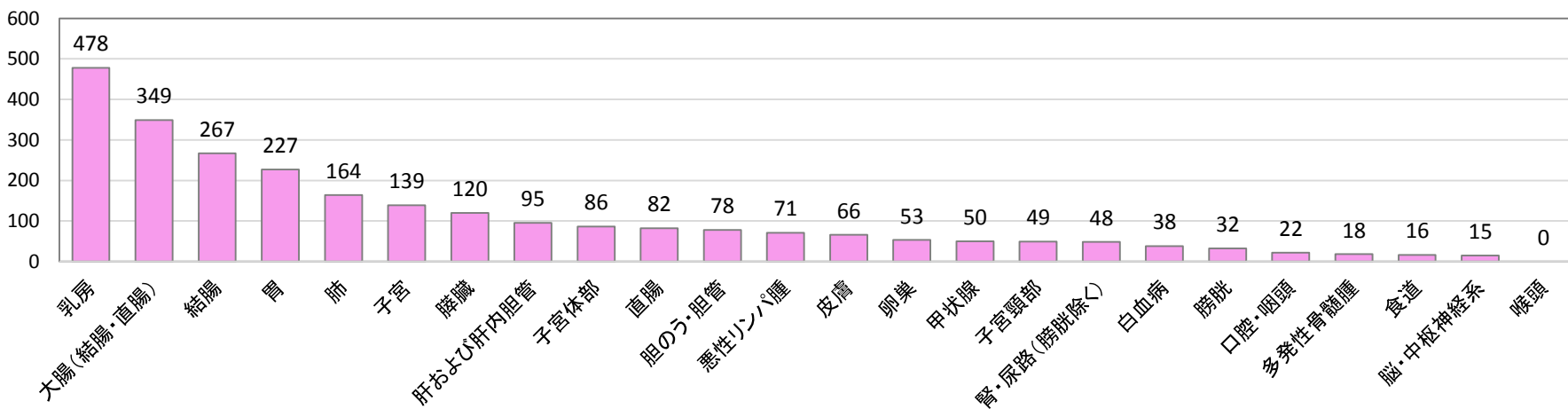


B 男女別・部位別罹患数(件)

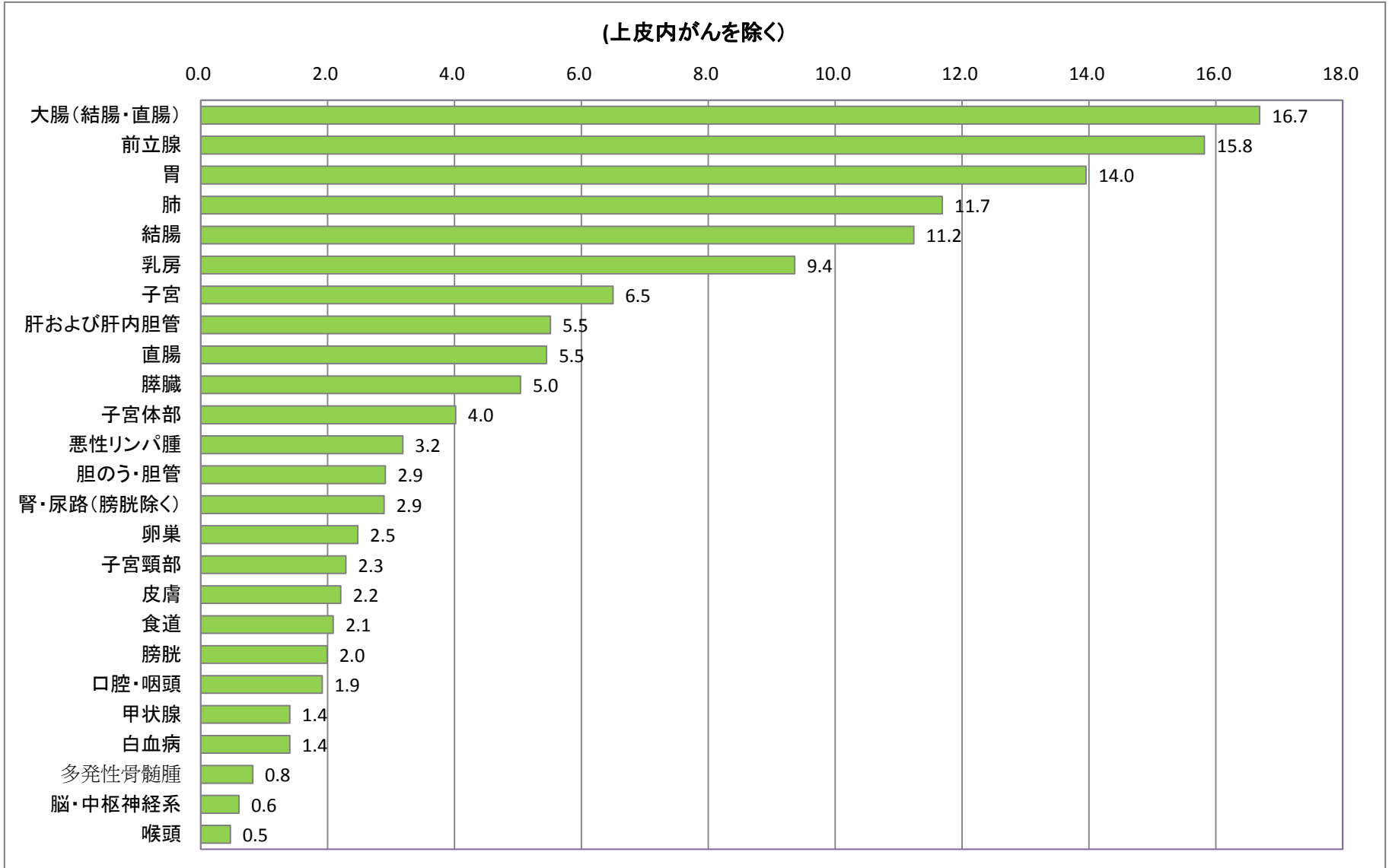
男性(上皮内がんを除く)



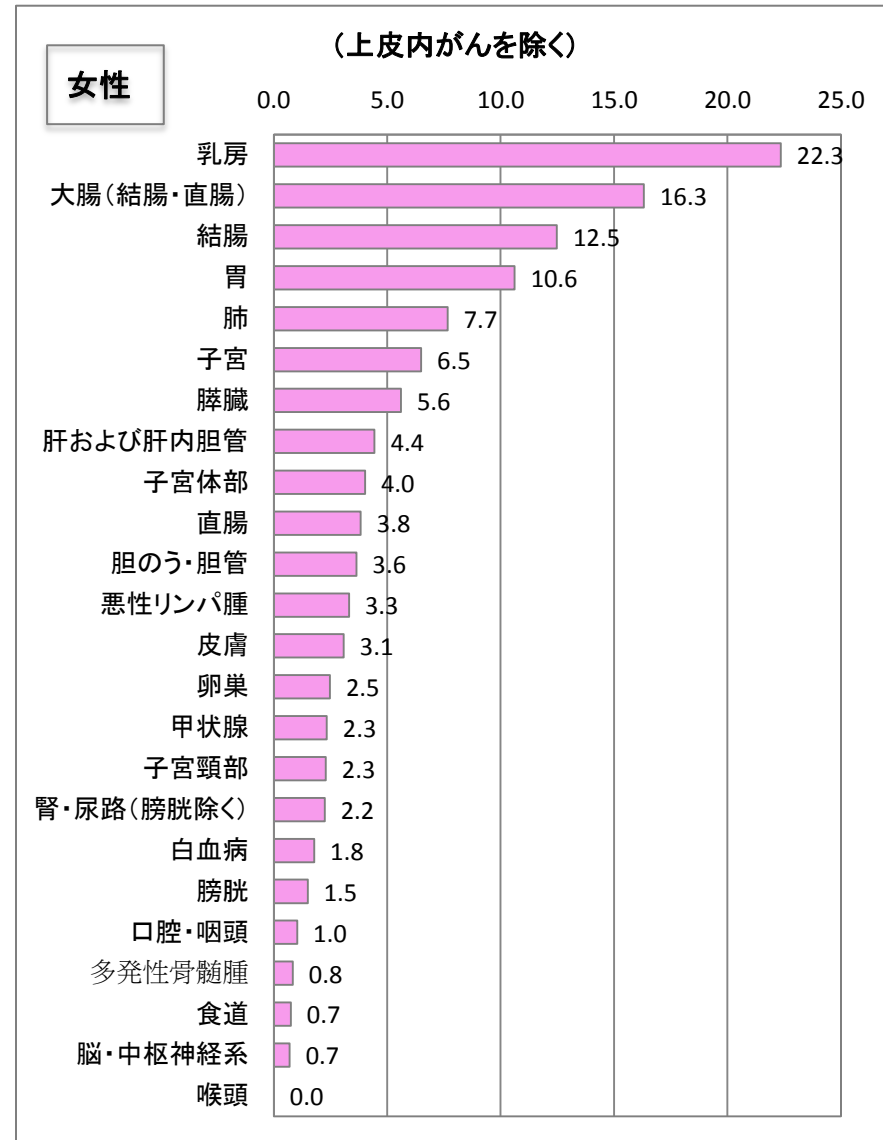
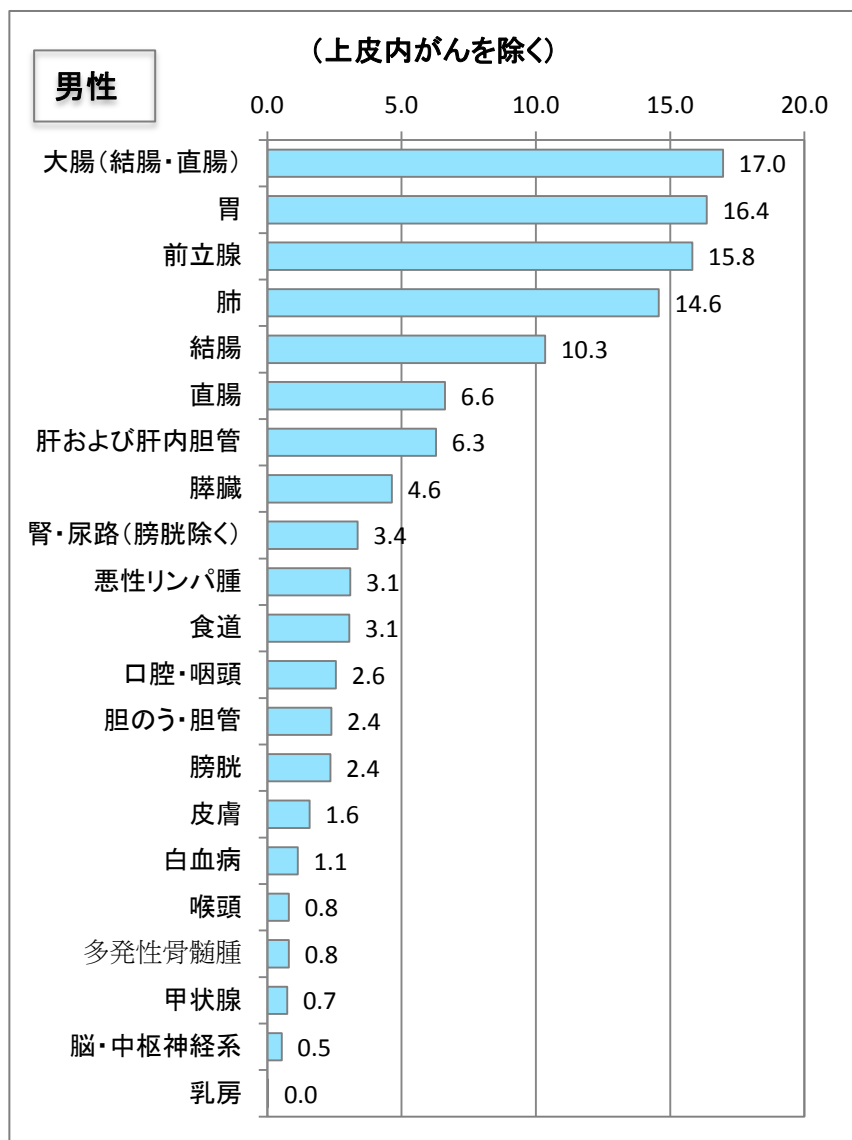
女性(上皮内がんを除く)



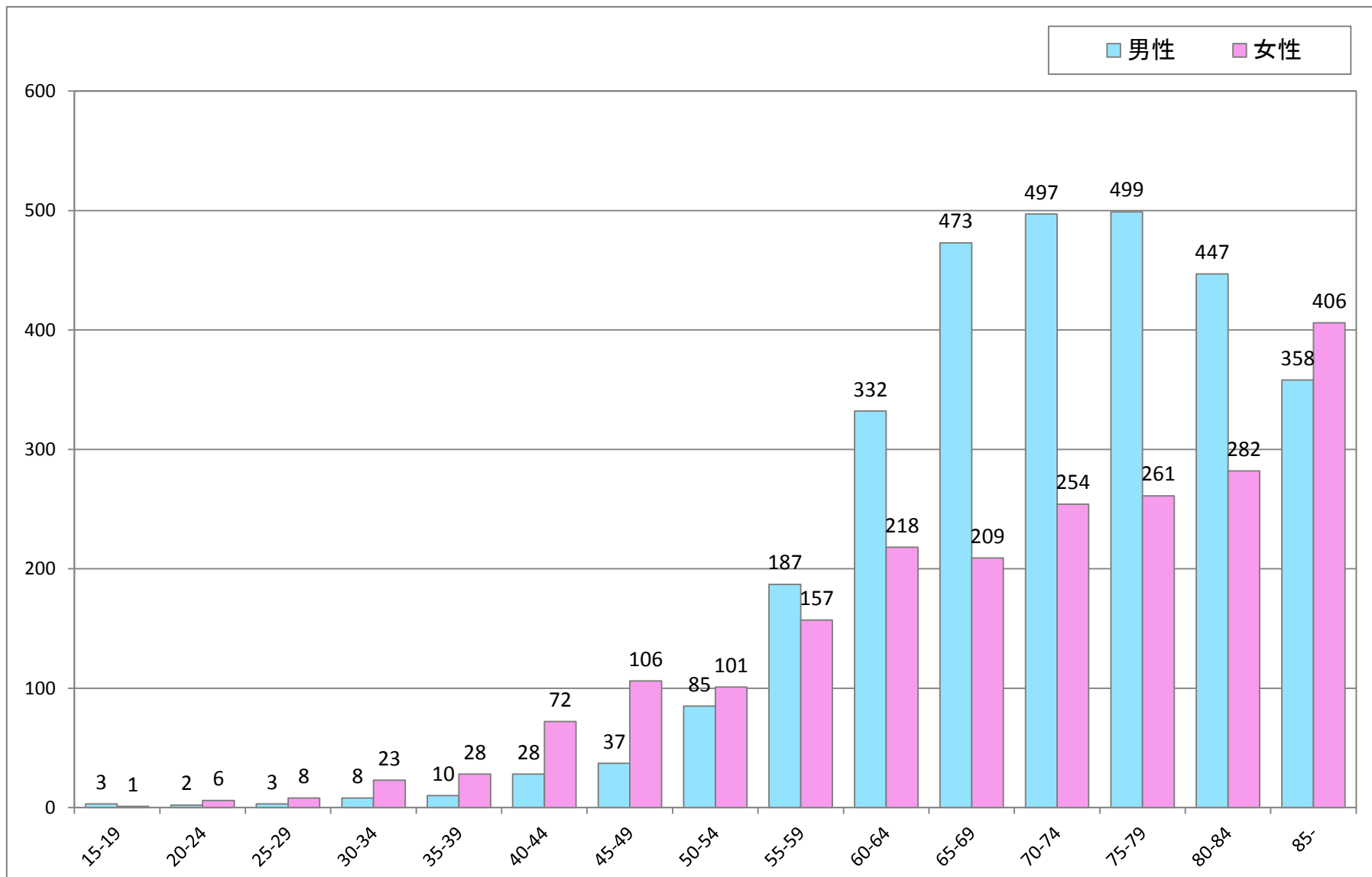
C 罹患割合(%)・全体



C 罹患割合・男女別(%)

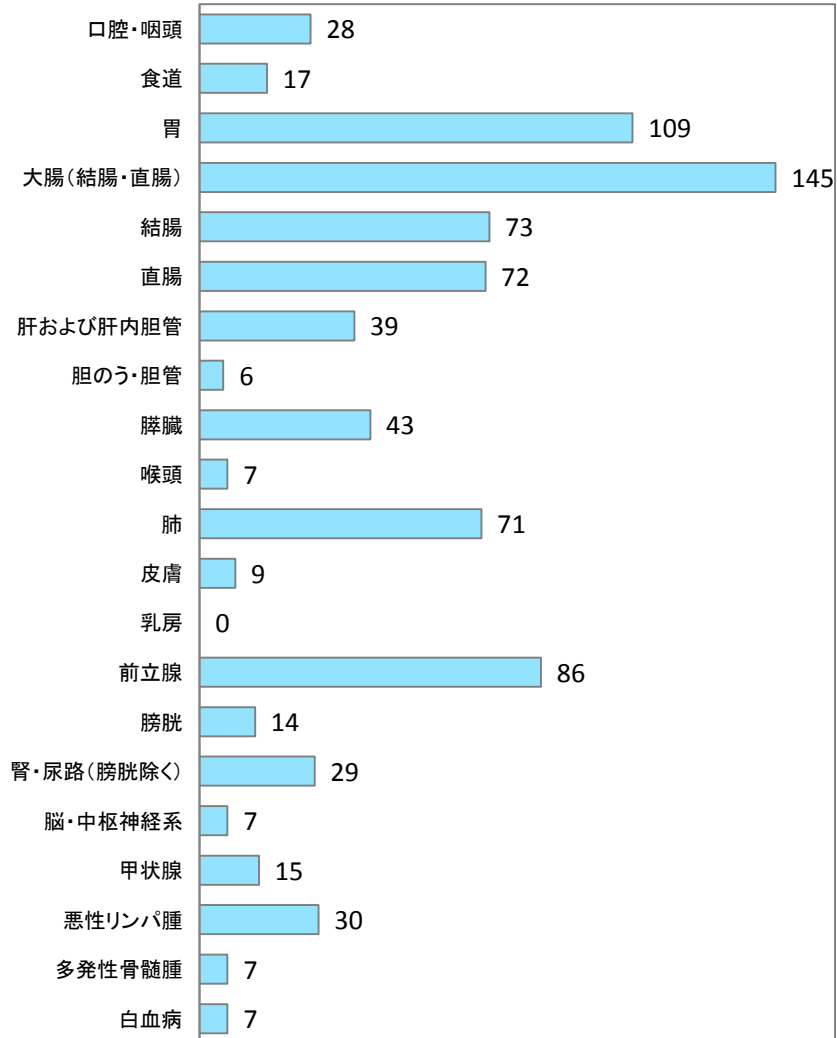


D 年齢階級別・男女別罹患数(件)

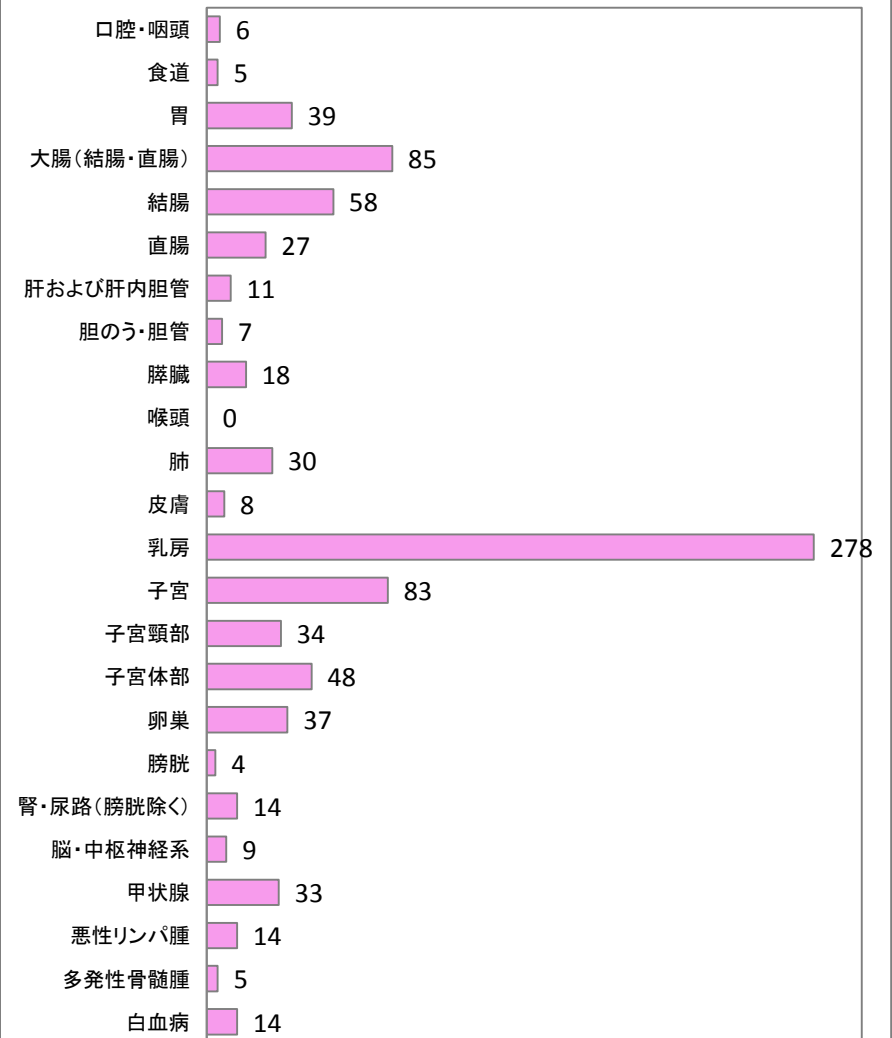


D 年齢別・部位別罹患数／20歳～64歳(件)

男性20～64歳 692件(上皮がんを除く)

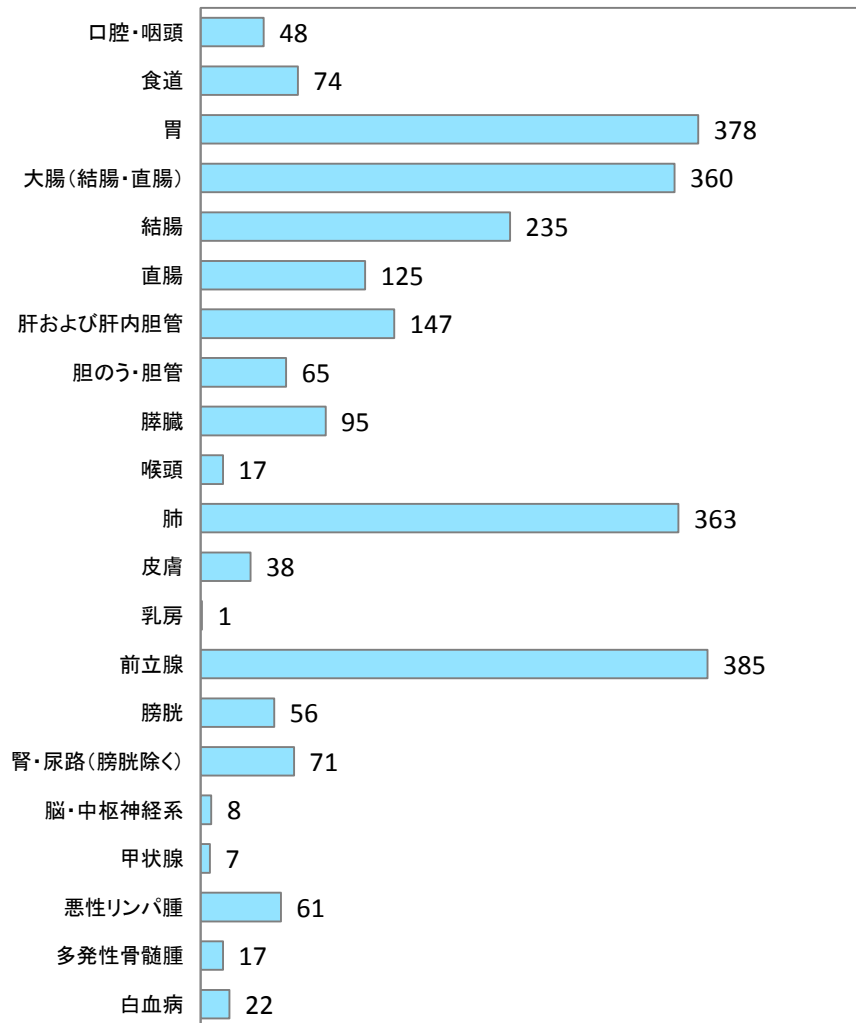


女性20～64歳 719件(上皮がんを除く)

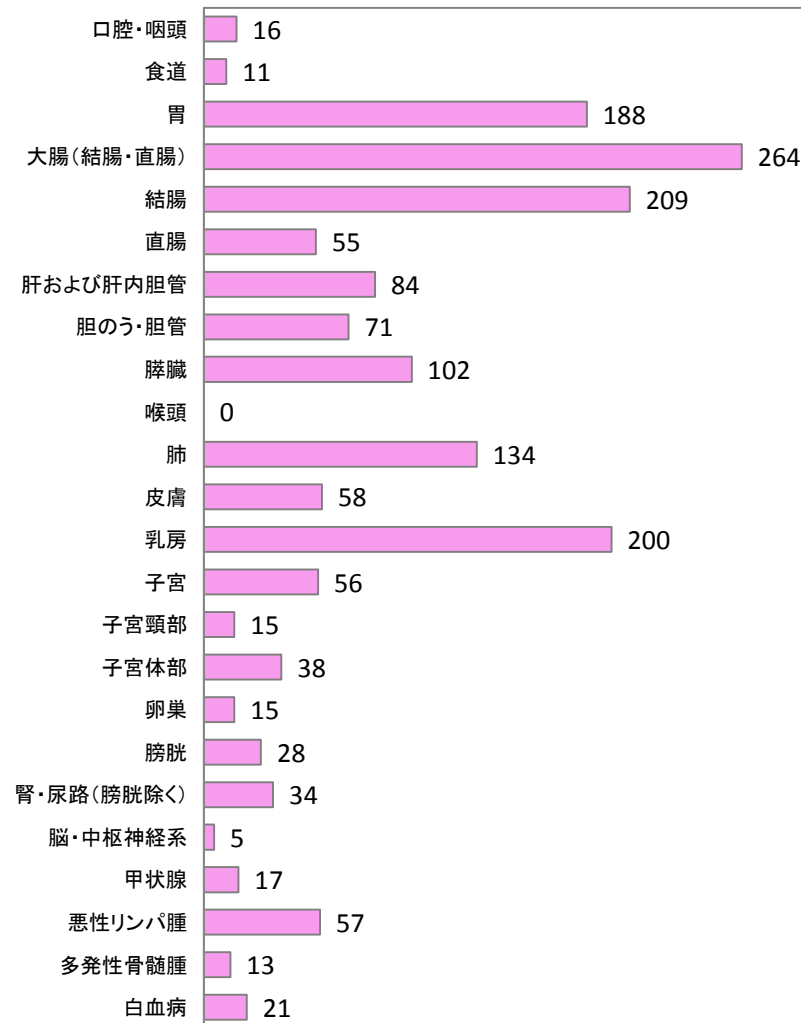


D 年齢別・部位別罹患数／65歳以上(件)

男性65-歳 2274件(上皮がんを除く)

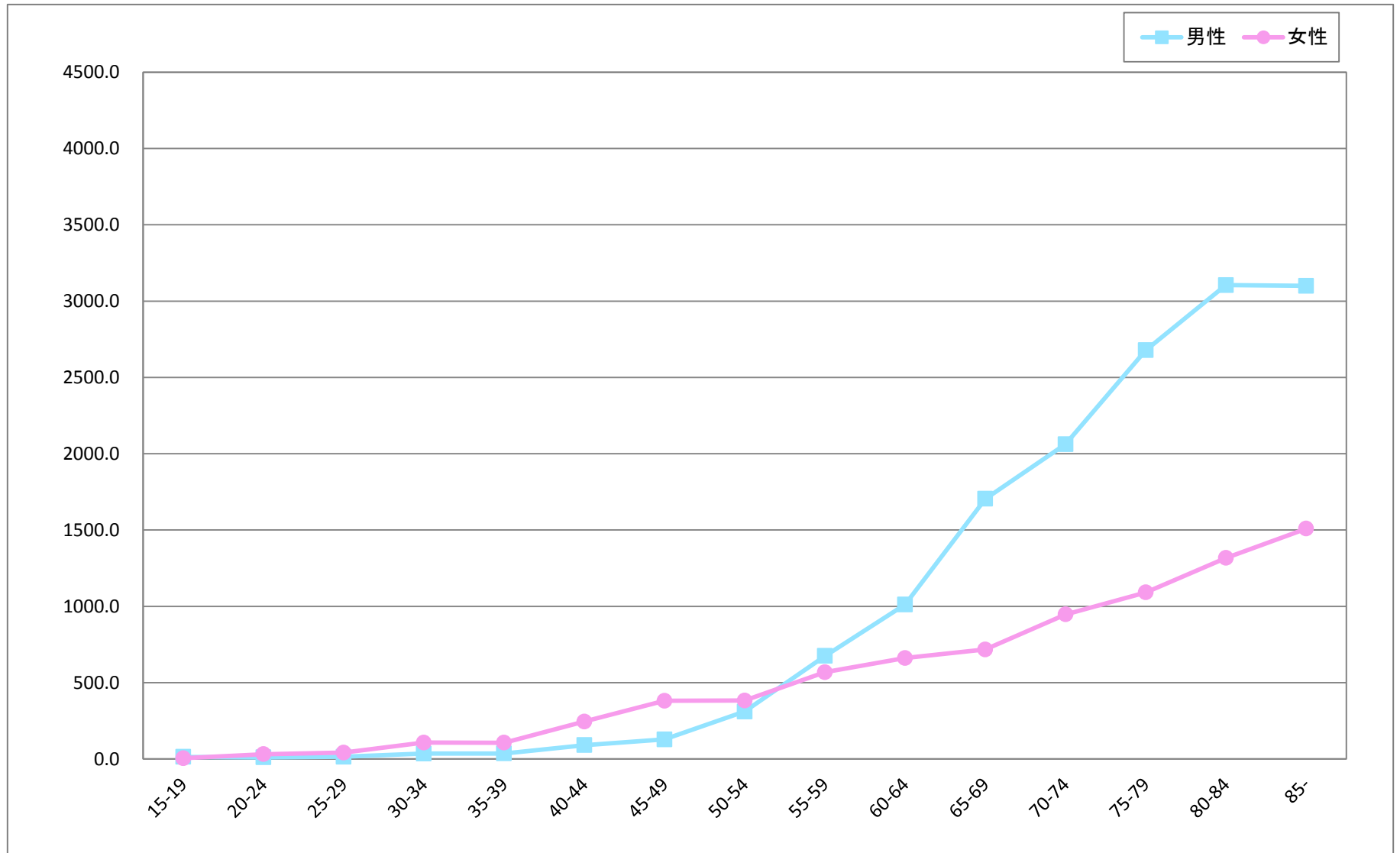


女性65-歳1412件(上皮がんを除く)

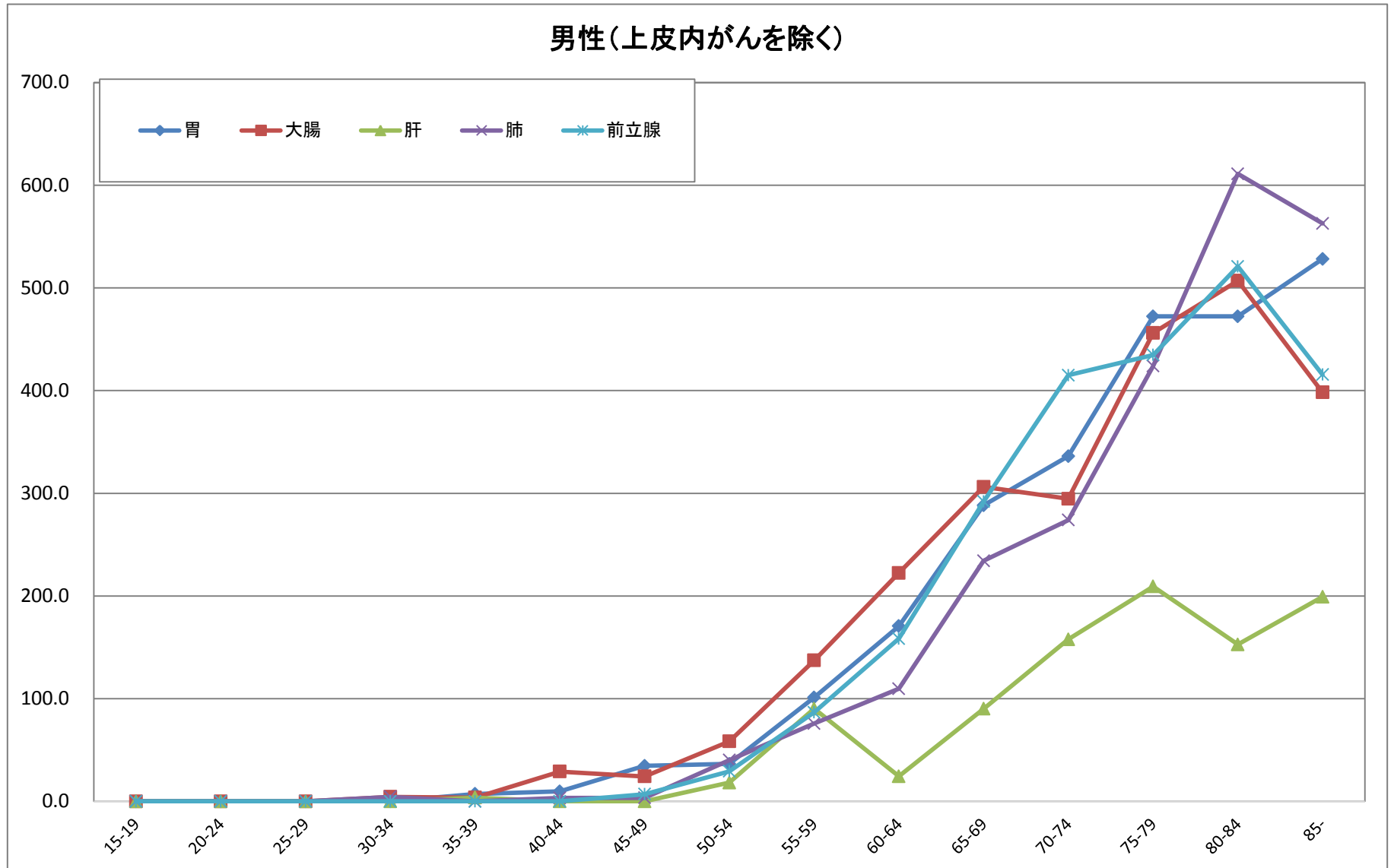


E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

全部位(上皮内がんを除く)

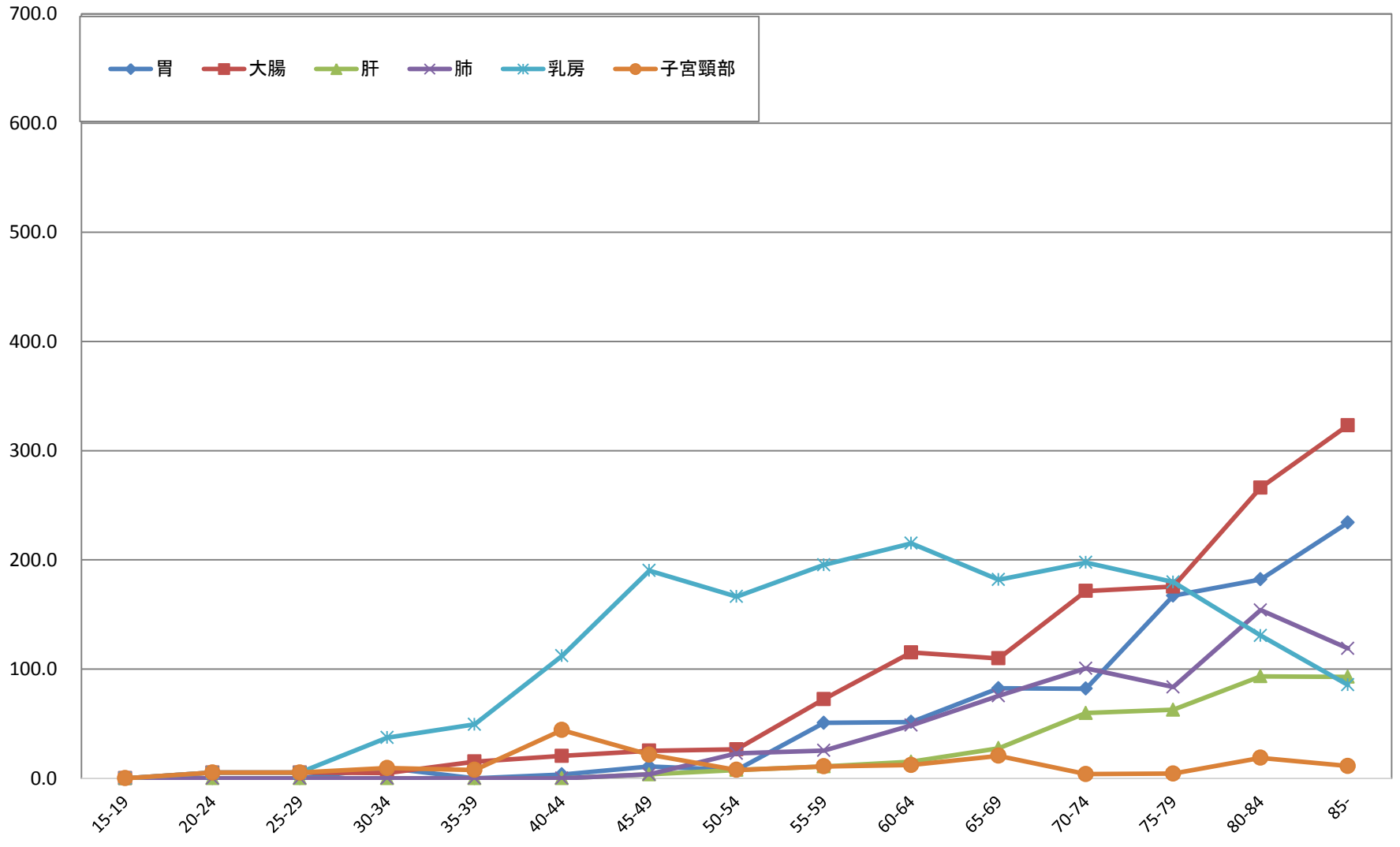


E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)



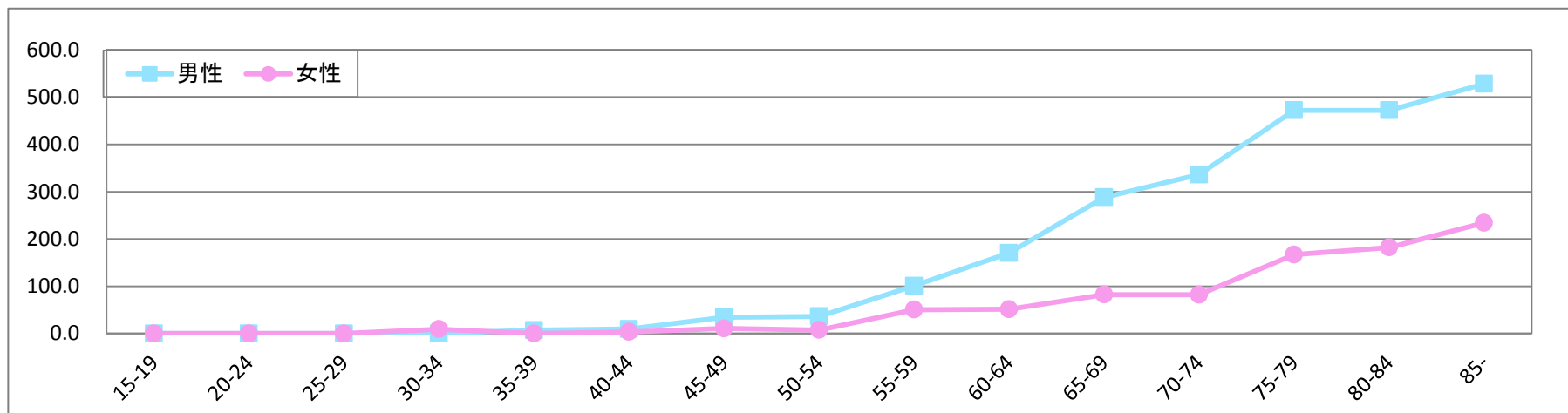
E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

女性(上皮内がんを除く)

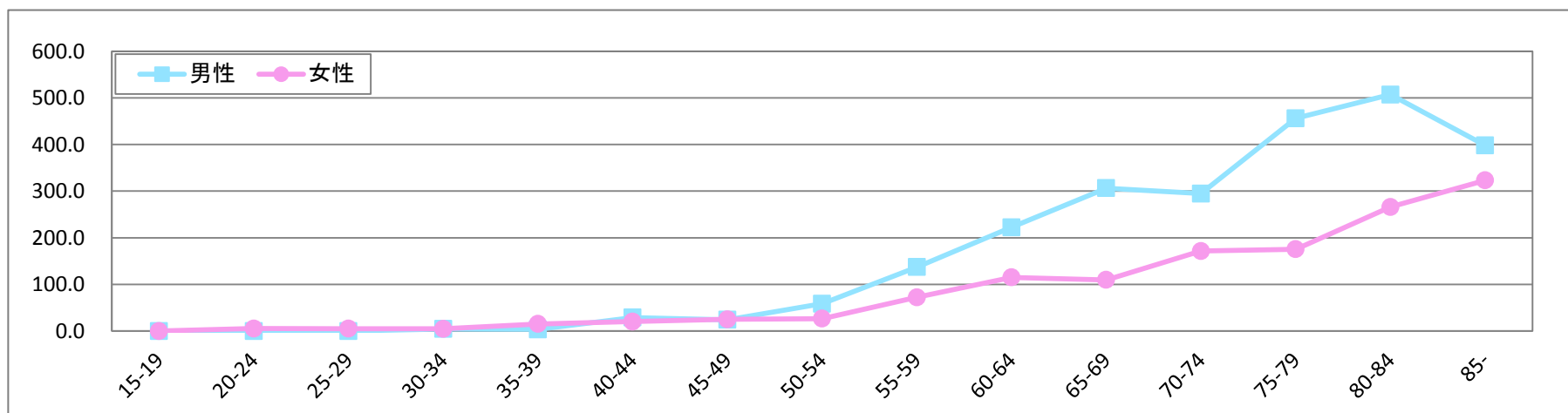


E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

胃がん(上皮内がんを除く)

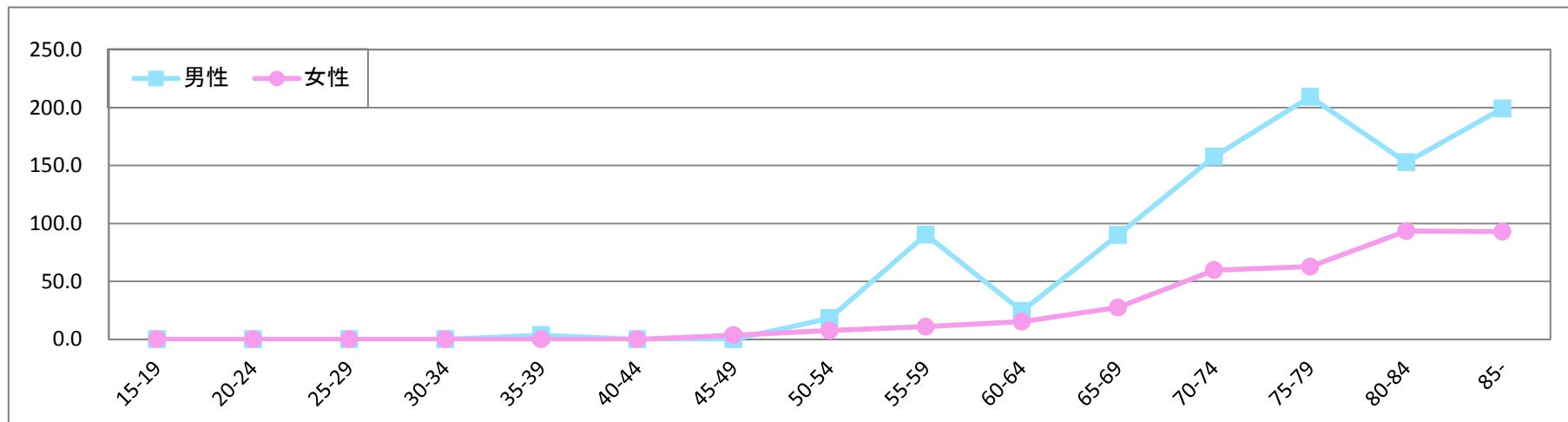


大腸がん(上皮内がんを除く)

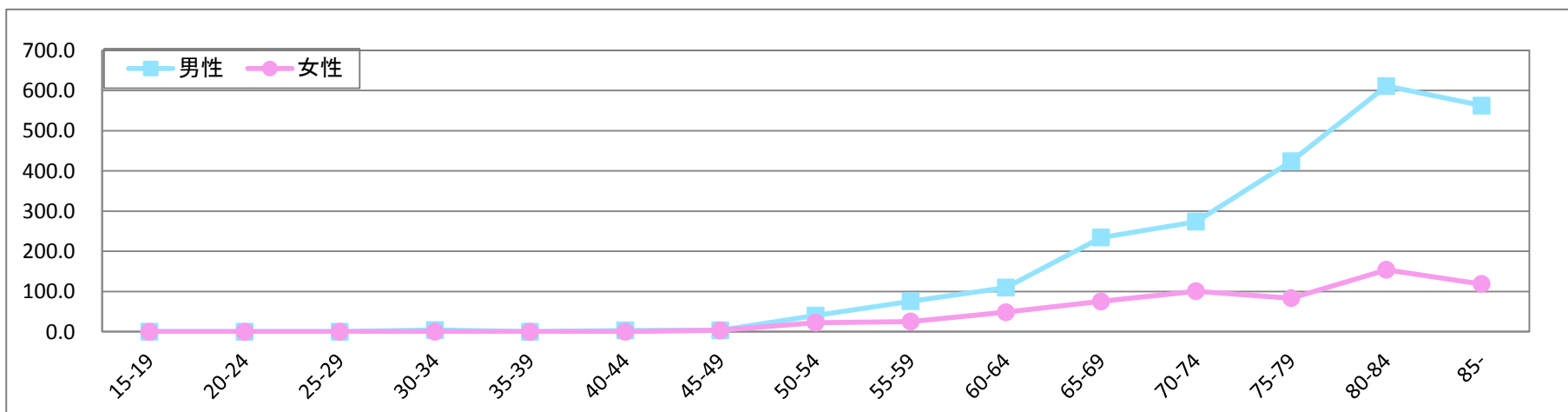


E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

肝がん(上皮内がんを除く)

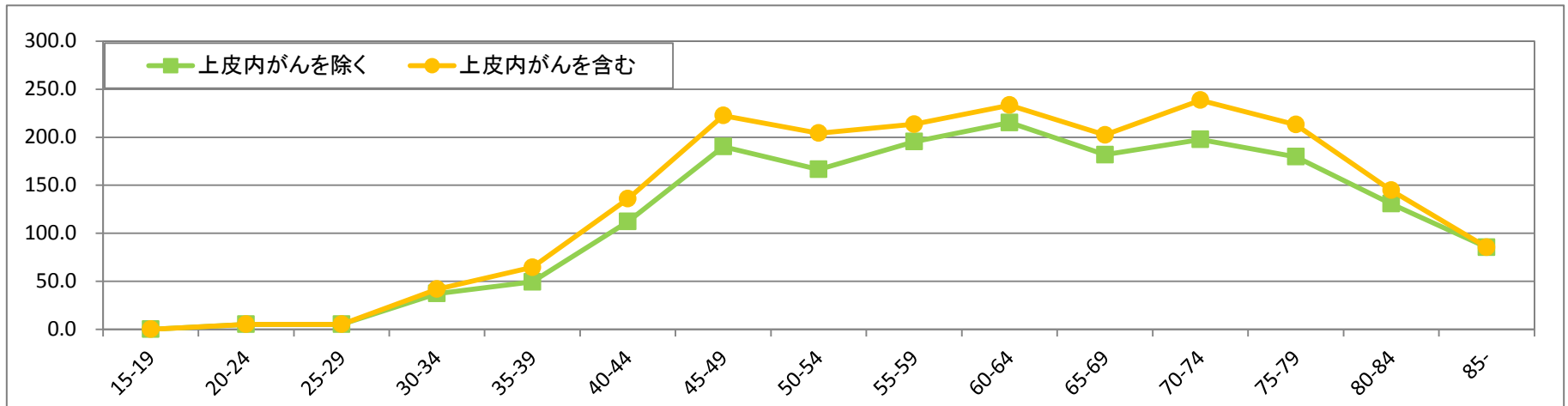


肺がん(上皮内がんを除く)

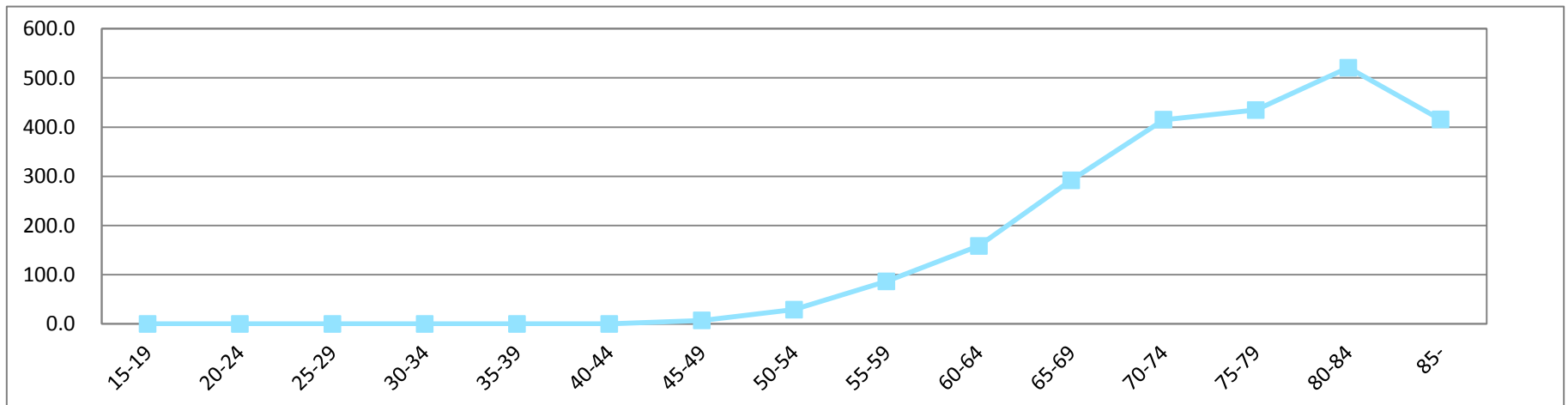


E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

乳がん(女性)

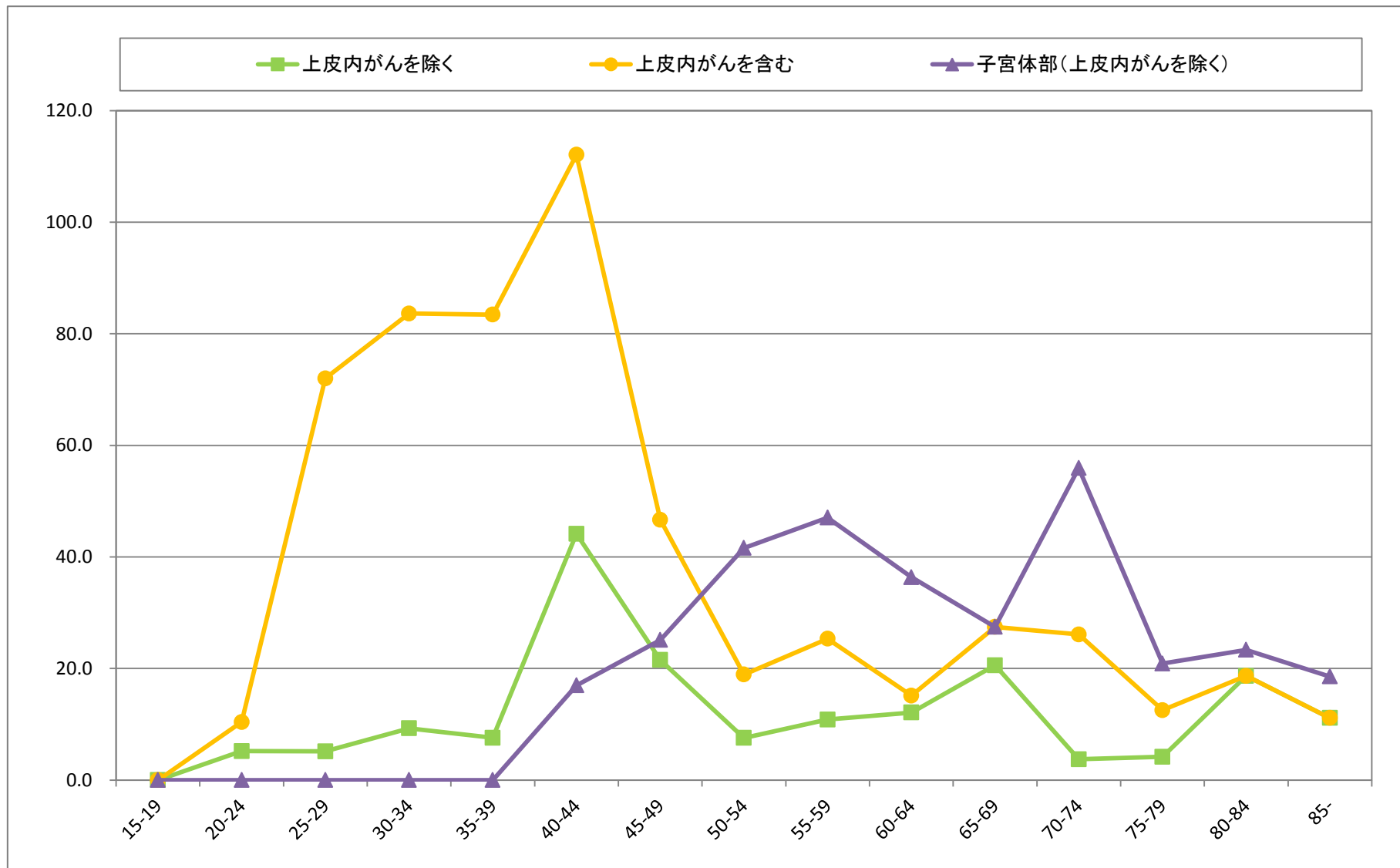


前立腺がん(上皮内がんを除く)

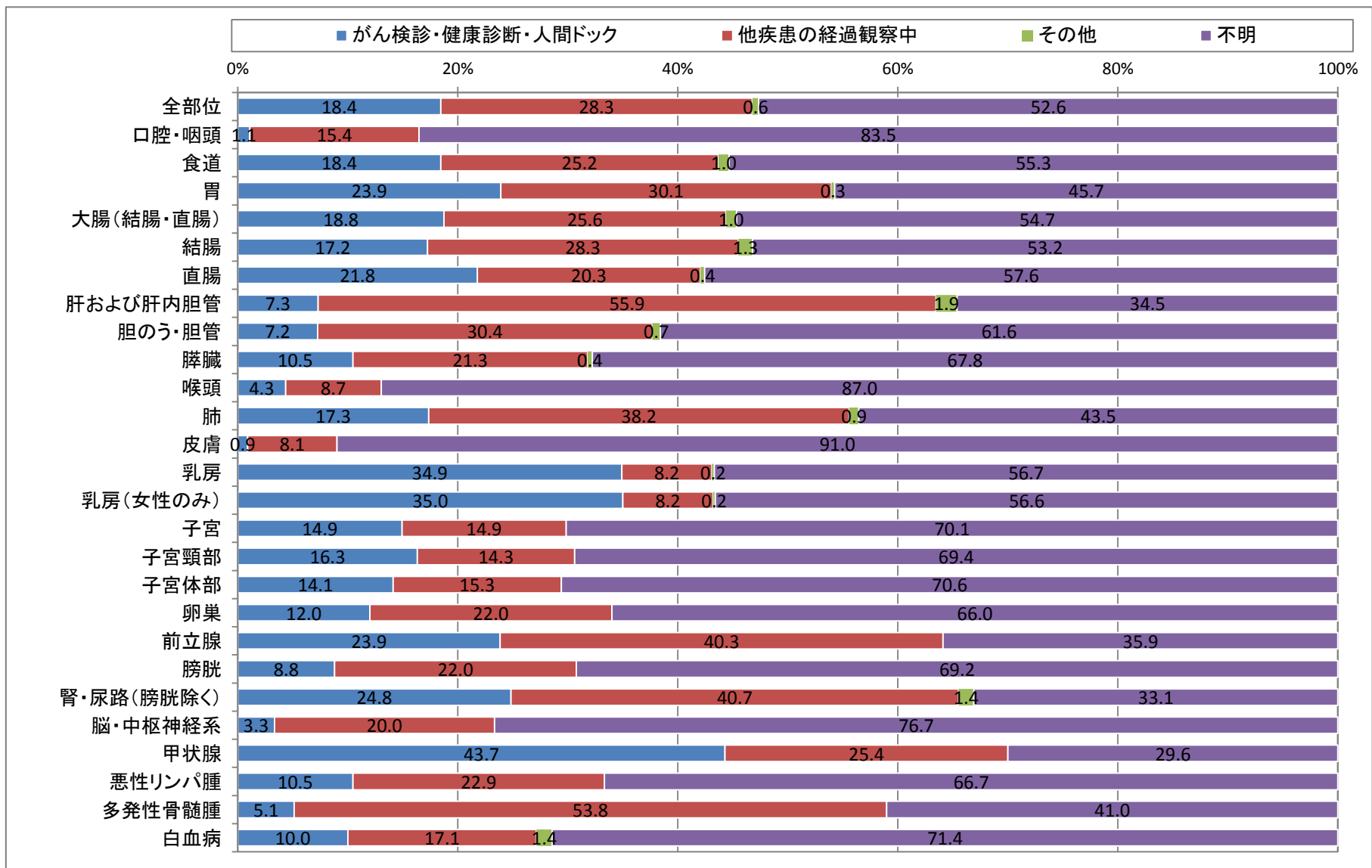


E 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

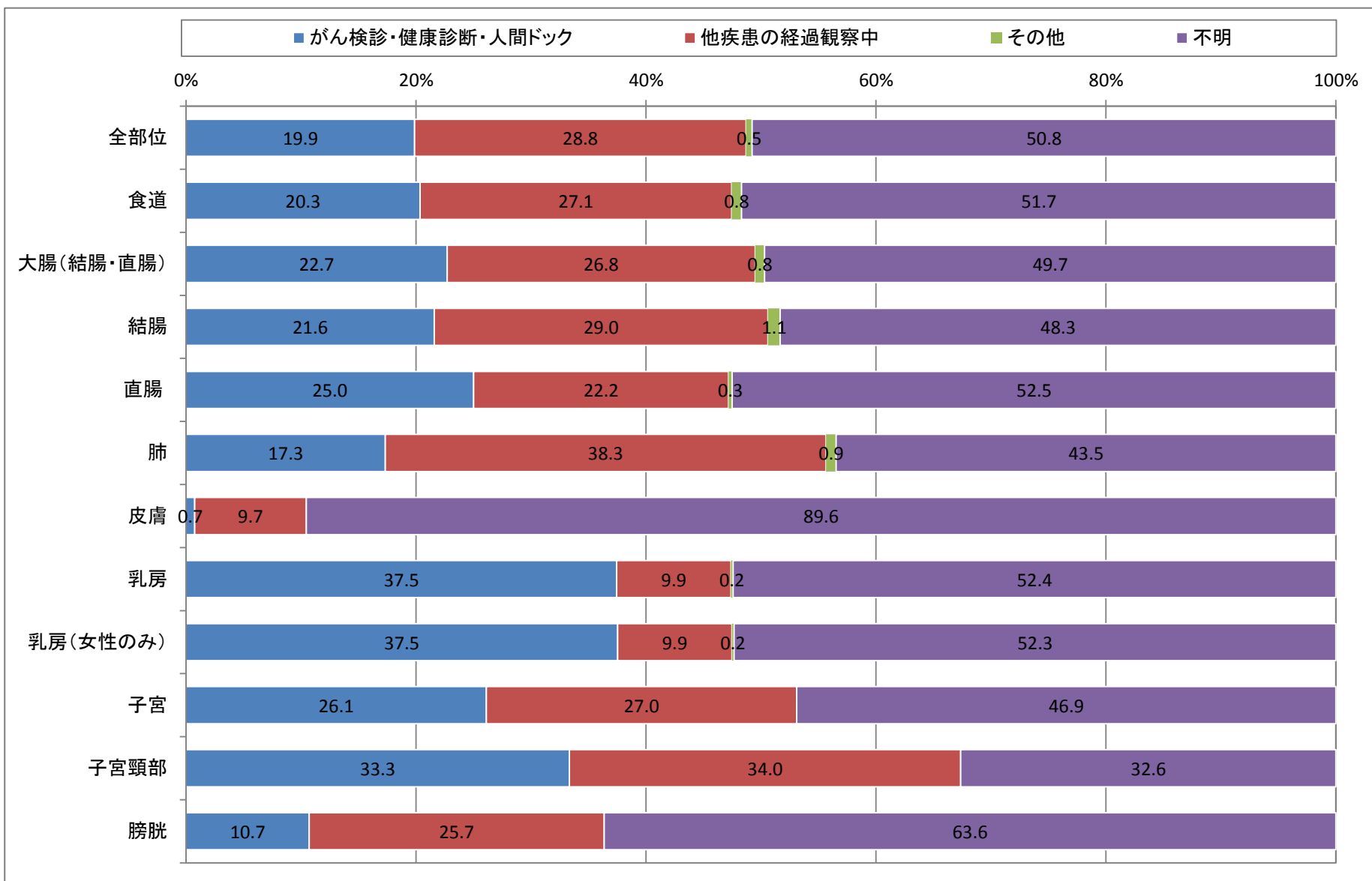
子宮(子宮頸部・子宮体部)がん



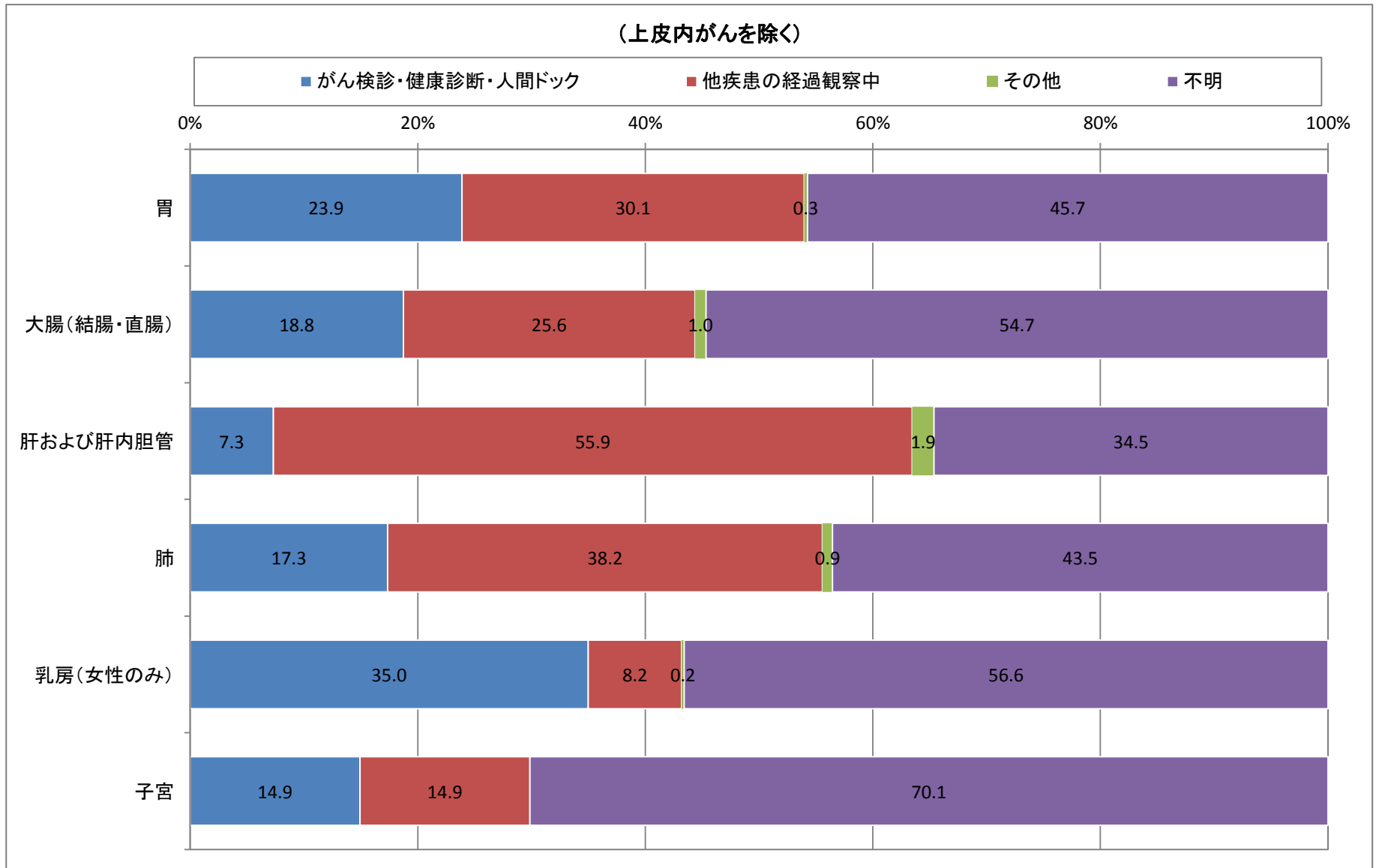
F 発見経緯(上皮内がんを除く)(%)



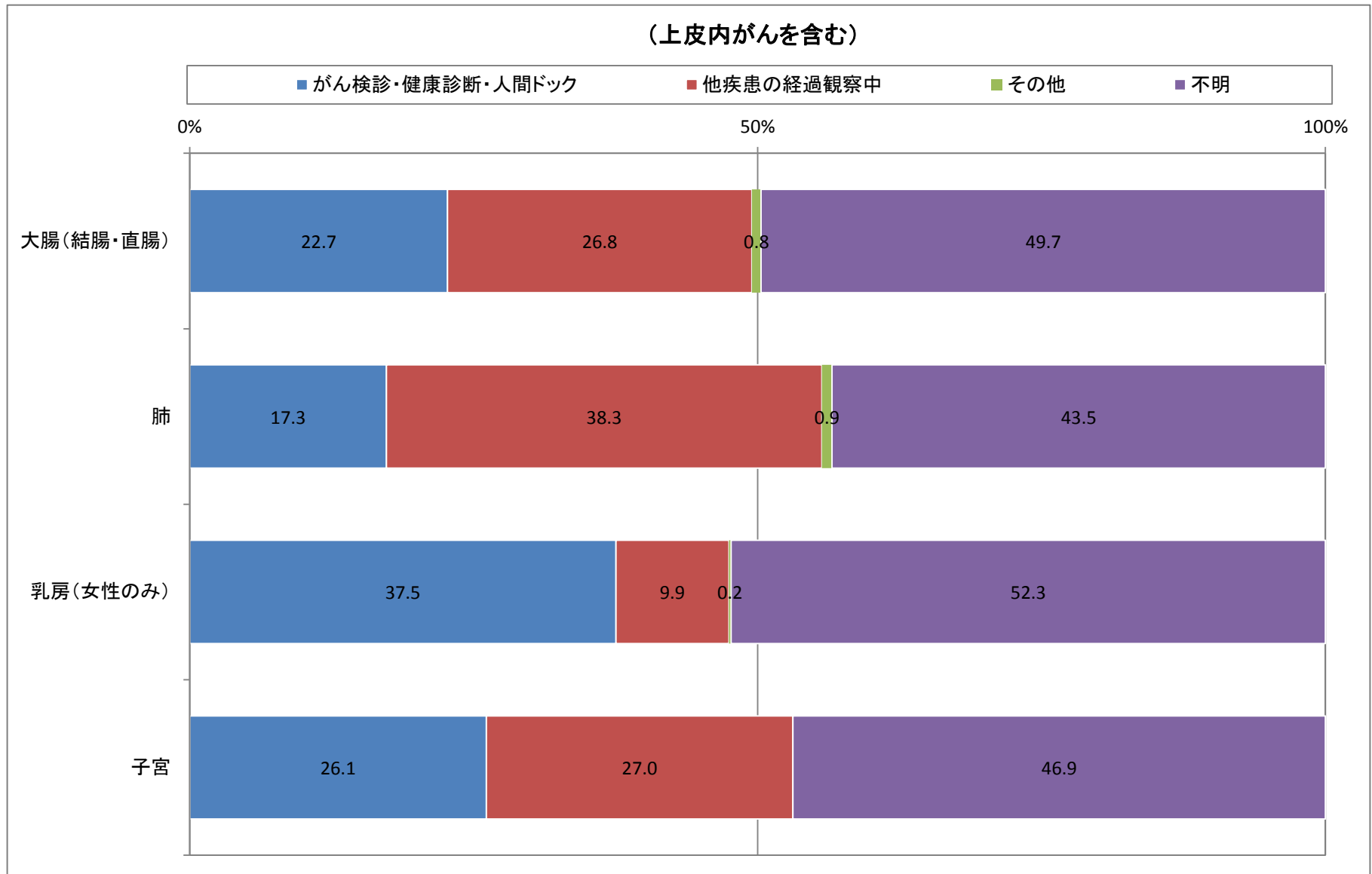
F 発見経緯(上皮内がんを含む)(%)



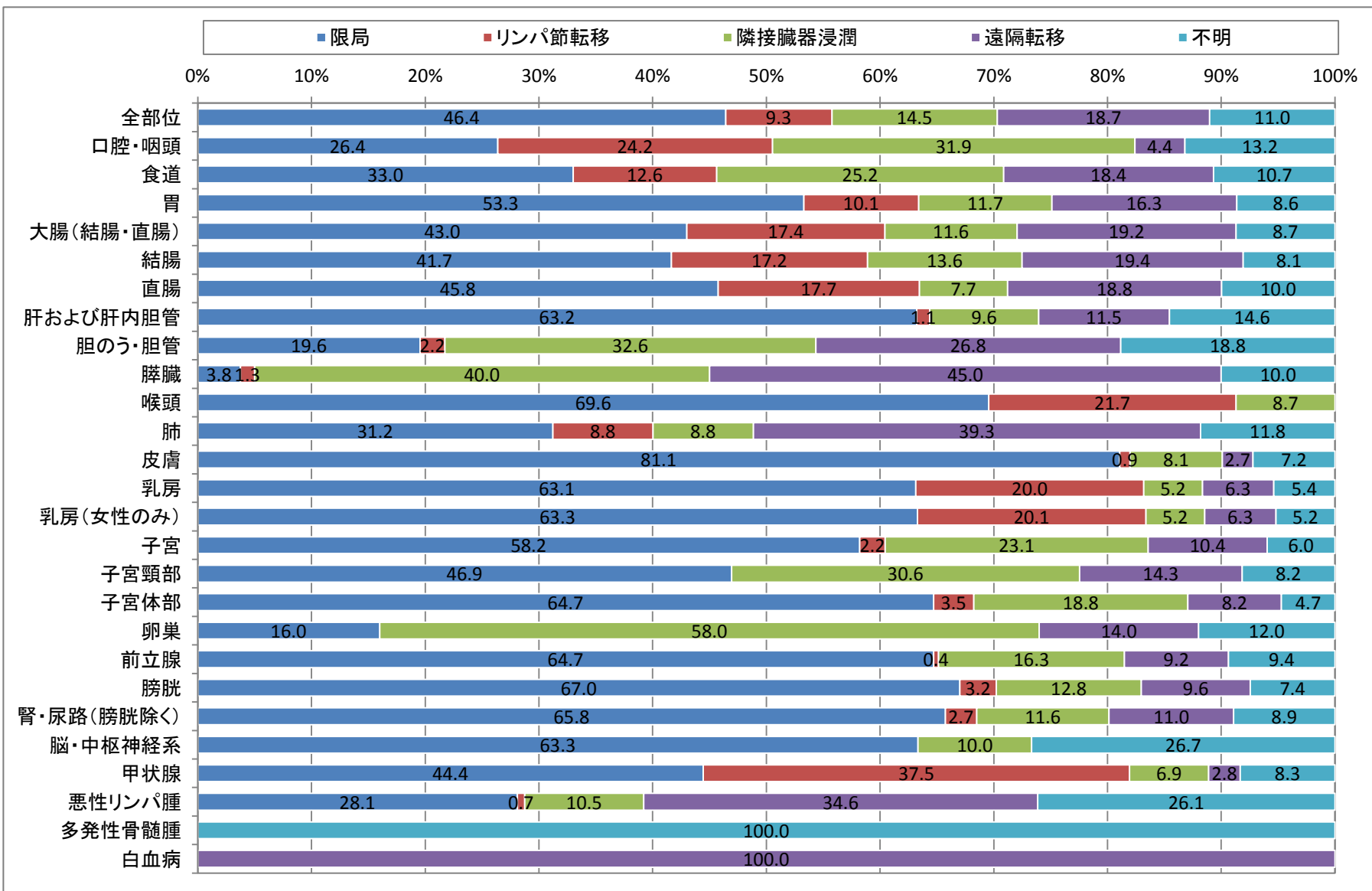
F 発見経緯(5大がん+肝がん)(%)



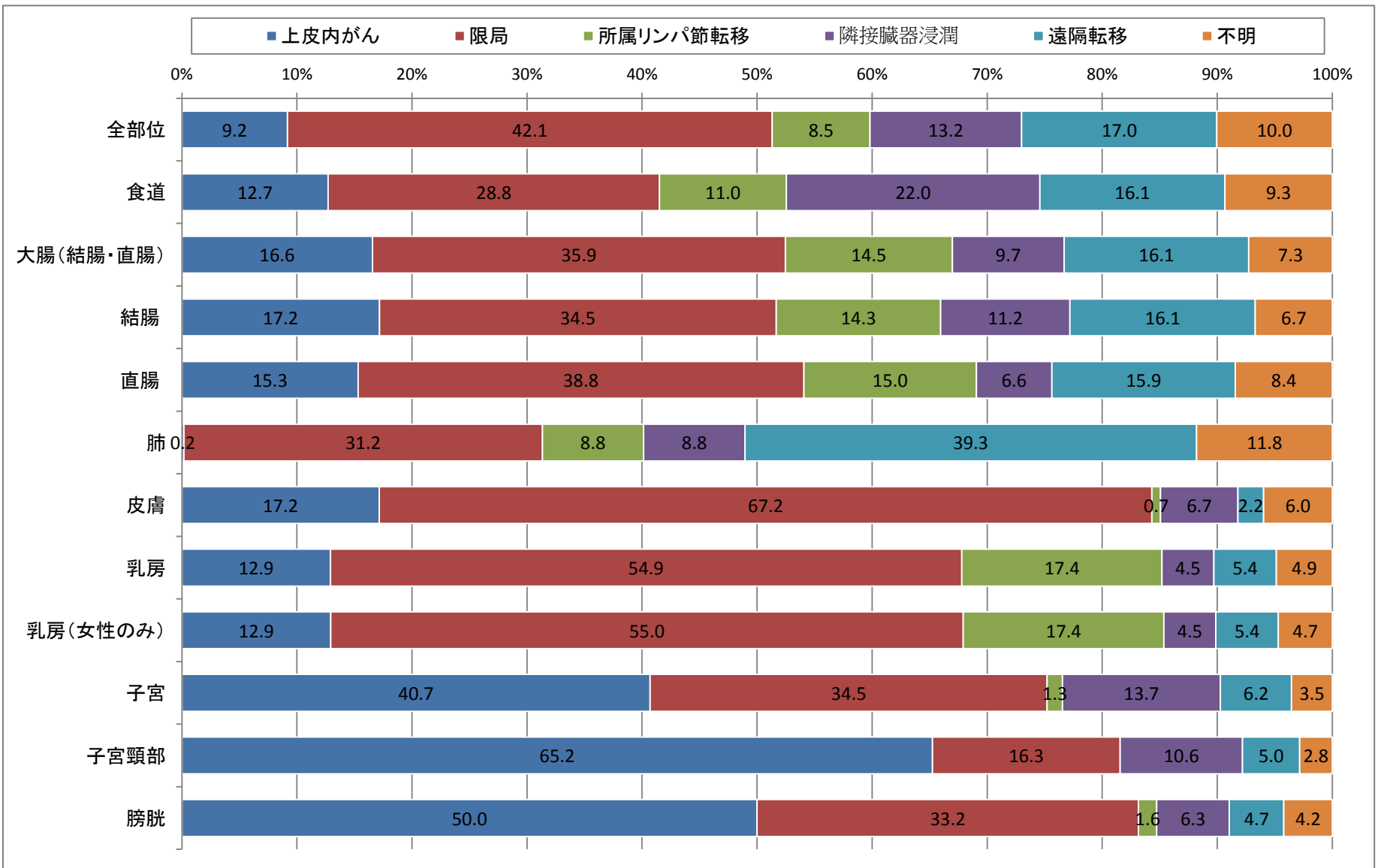
F 発見経緯(5大がん+肝がん)(%)



G 臨床進行度(上皮内がんを除く)(%)



G 臨床進行度(上皮内がんを含む)(%)



データの精度

山梨県のデータ精度はMCIJ推計値採用基準Aを満たしている。

	IM比		DCN		DCO	
	上皮内除く	上皮内含む	上皮内除く	上皮内含む	上皮内除く	上皮内含む
MCIJ掲載基準	1.5程度		30%未満		25%未満	
2008年	2.34	—	21.8	20.5	11.9	11.2
2009年	2.46	2.63	19.6	18.4	9.5	8.9
2010年	2.31	2.50	19.4	18.0	10.2	9.5
MCIJ(基準A) * 推計値採用基準	2.0程度		20%未満		10%未満	
2011年	2.23	2.41	17.4	16.2	7.7	7.2
2012年	2.20	2.40	15.9	14.6	7.4	6.8
2013年 ⁽¹⁾ (暫定値)	2.17	2.37	18.6	17.0	7.9	7.2
2013年 ⁽²⁾ (確定値)	2.05	2.24	5.9	5.4	4.4	4.0

◆ MCIJ : 全国がん罹患モニタリング集計

◆ MI比 : 罹患数と死亡数の比

◆ DCN : death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたがん症例 ◆ DCO : death certificate only 死亡診断書以外の情報がない症例

◆ (1) 山梨県2013年暫定値(2016年1月地域がんデータベースシステム集計)

◆ (2) 山梨県2013年確定値(2017年3月全国がん登録システム集計)

まとめ

1. 罹患数

- 山梨県での2013年の1年間のがん罹患数は5,116件
男性:2,977件 女性:2,139件
- 2012年の罹患数と単純に比較すると、男性では184件減少、女性では80件減少し、全体で264件の減少がみられた。
- 2008年以降、罹患数は5,300件前後で推移している。

	2008年 (確定値)	2009年 (確定値)	2010年 (確定値)	2011年 (確定値)	2012年 (確定値)	2013年 (確定値)
全体	5,280	5,402	5,507	5,435	5,380	5,116
男性	3,075	3,158	3,242	3,168	3,161	2,977
女性	2,205	2,244	2,265	2,267	2,219	2,139

★注1: 地域がん登録は1腫瘍1登録であり、多重がんもあるため「がん罹患人数」ではない
★注2: 全国がん登録システムへの変更に伴い2013年3月再集計

まとめ

2. 部位別罹患数・罹患割合

- 1位が「大腸（結腸＋直腸）」854件、2位が「胃」814件、3位が「肺」598件となっている。2012年と順位は変わらない。
- 2012年の罹患数と比べ増加したのは、36件増の「膵臓」、22件増の「皮膚」、19件増の「乳房」、「腎・尿路」であった。
減少したのは、70件減の「前立腺」、60件減の「肝および肝内胆管」、45件減の「大腸」、42件減の「胃」、35件減「胆のう・胆管」であった。

	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)
1位	大腸	856 (16.2%)	胃	861 (15.9%)	大腸	821 (14.9%)	大腸	841 (15.4%)	大腸	899 (16.7%)	大腸	854 (16.6%)
2位	胃	789 (14.9%)	大腸	826 (15.2%)	胃	799 (14.5%)	胃	792 (14.5%)	胃	756 (14.0%)	胃	714 (13.9%)
3位	肺	605 (11.4%)	肺	615 (11.3%)	肺	629 (11.4%)	肺	570 (10.4%)	肺	611 (11.3%)	肺	598 (11.6%)

まとめ

3. 男女別罹患数順位

○ 男性は、「大腸」505件、「胃」487件、「前立腺」471件、「肺」434件、「肝および肝内胆管」187件の順であった。

2012年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、30件増の「膵臓」、13件増の「悪性リンパ腫」、10件増の「肺」、70件減の「前立腺」、46件減の「肝および肝内胆管」、40件減の「胃」であった。

○ 女性は「乳房」478件、「大腸」349件、「胃」227件、「肺」164件の順であった。

2012年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、28件増の「皮膚」、20件増の「乳房」、15件増の「卵巣」、41件減の「大腸」、23件減の「肺」、19件減の「甲状腺」であった。

男性	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	女性	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
1位	胃	胃	胃	胃	前立腺	大腸	1位	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房
2位	大腸	前立腺	前立腺	前立腺	胃	胃	2位	大腸	大腸	大腸	大腸	大腸	大腸
3位	肺	大腸	大腸	大腸	大腸	前立腺	3位	胃	胃	胃	胃	胃	胃

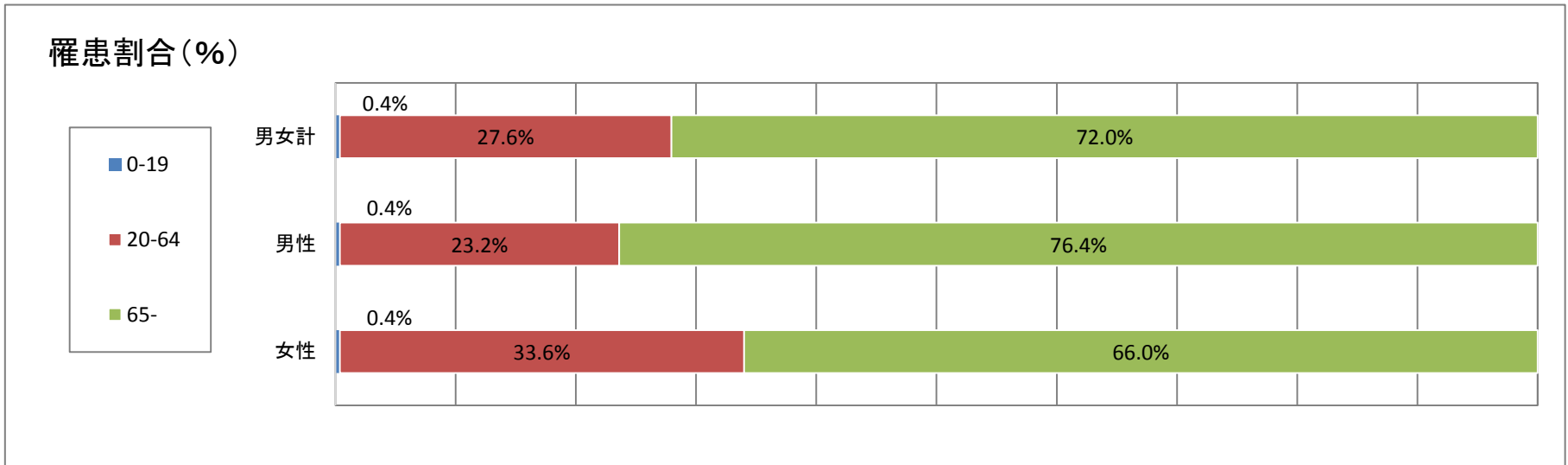
まとめ

4. 年齢階級別・男女別罹患数、罹患割合

○年齢別にみると65歳以上が3,686件で全年齢の72.0%を占め就労年齢の多い20-64歳は1,411件(27.6%)となっている。

○男性では、65歳以上が2,274件(76.4%)、20-64歳が692件(23.2%)となっている。

○女性では、65歳以上が1,412件(66.0%)、20-64歳が719件(33.6%)となっている。



まとめ

5. 年齢階級別罹患率

- 男性は50歳代から罹患率が急激に上昇し、その後も加齢に伴い上昇している。
- 女性は、乳がん及び子宮頸がんの罹患が、20歳～30歳代から高くなることから、20歳～50歳代前半までは男性より罹患率が高い。
50歳代後半で男性の罹患率と交差し、その後は緩やかに増加する。
- 臓器別にみると、男性は30歳代から大腸がんが増加し、50歳代からの臓器も増加している。
女性では子宮頸がんが20歳代前半から急激に上昇し、40歳代後半でピークとなる。
また、乳がんは30歳代前半から急上昇し、70歳代前半まで女性のがんの1位である。
大腸がんが50歳代後半から増加しはじめ、加齢とともに上昇する。
子宮頸がんと乳がん、大腸がんは就労世代の罹患率が高い。

まとめ

6. 臓器別発見経緯

- 発見経緯は、全部位で「がん検診・健康診断・人間ドック」18.4%、「他疾患の経過観察中」28.3%、「その他・不明(症状受診含む)」53.2%であった。
- 「がん検診」と「健診・人間ドック」で発見されたものを臓器別にみると、「乳房」35.0%、「胃」23.9%、「大腸」18.8%、「食道」18.4%の順であった。
- 「上皮内がんを含む」発見経緯では、「乳房」が37.5%、「子宮頸がん」が33.3%で健診等での発見率が高い。